

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

('10GG-J1(TCF946)・GG-J2(TCF947)  
'12GG-J1(TCF948)・GG-J2(TCF949)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧\\*](#)をご確認ください。

\*10GG-J (TCF946・947) は、補修部品の供給期間が終了したため、ラベルの発注はできません

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	( 特 1 ) イ プ 1	( 特 2 ) イ プ 2	正 規 品	( 特 1 ) イ プ 1	( 特 2 ) イ プ 2
( 特 3 ) イ プ 3	( 特 4 ) イ プ 4	( 特 5 ) イ プ 5	( 特 3 ) イ プ 3	( 特 4 ) イ プ 4	( 特 5 ) イ プ 5

### 3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

#### <<本体側の設定方法>>

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1 本体操作部の を10秒以上押し続ける  
 ⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

2 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)しているうちに、  
 すぐに を5秒以上押す。  
 5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

3 ※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。  
 を押したまま、 を押す。  
 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準  
 と設定が切り替わります。

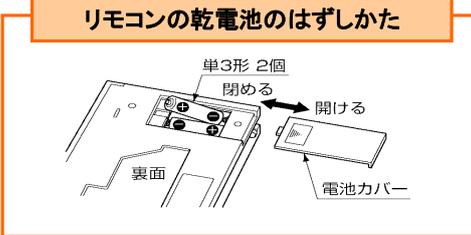
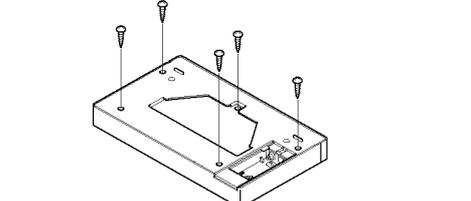
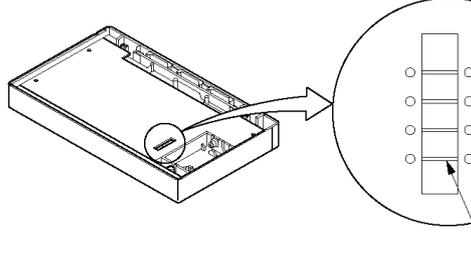
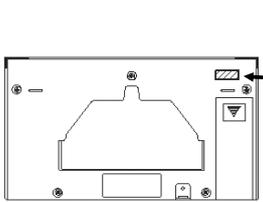
設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●

4 ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。  
 から手を離れた時点で設定したコードになる。

5 ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

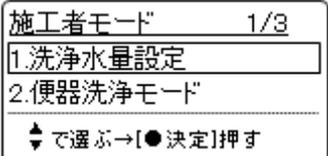
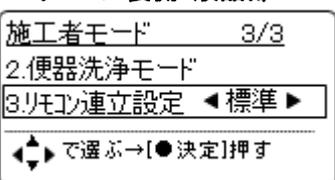
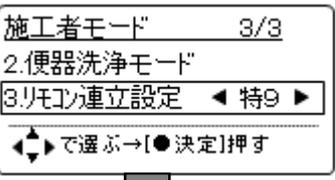
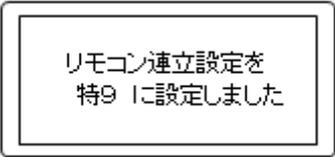
※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側①)																																																								
1	<p><b>リモコンの乾電池のはずしかた</b></p>  <p><b>リモコンの完全放電</b></p> 	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> <p>③「おしり洗浄」スイッチを押して、水勢ランプが消えていることを確認する。 (水勢ランプが確実に消えるまで「おしり洗浄」スイッチを押し続けずに作業を進めると、特殊コードが切り替わりません)</p>																																																							
2		<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <p style="text-align: center;">◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="263 1243 1029 1467"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b> ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																															
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																								
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

◆ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
◆基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

## &lt;&lt;リモコン側の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側②スティックリモコンの場合)	
1	<p>《リモコン表側》</p>  <p>《リモコン裏側:液晶部》</p>  <p>↓</p>  <p>◆で選ぶ→[●決定]押す</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②リモコン表側の《止》スイッチを約10秒押すと、裏側の液晶画面が【施工者モード】に切替わります。</p>
2	<p>《リモコン裏側:液晶部》</p>  <p>◆で選ぶ→[●決定]押す</p> <p>↓</p>  <p>◆で選ぶ→[●決定]押す</p> <p>↓</p> 	<p>①【施工者モード】の【3.リモコン連立設定】へ液晶画面横の▼ボタンでカーソルを合わせる。</p> <p>②【3.リモコン連立設定】の横に 標準 から画面横の▶ボタンで&lt;特1・特2…特14&gt;と表示が切替わるので設定したい状態の所に合わせる。(例:特9)</p> <p>③液晶画面横の●ボタンを押すと【リモコン連立設定を特9に設定しました】と表示されると設定完了。</p> <p>④液晶画面横の■メニュー/戻るボタンを押して最初の画面に戻る。</p> <p><b>《ご注意》</b></p> <p>特殊設定は標準～特9まで設定を行ってください。 リモコン側は標準～特14までの設定が可能ですが、本体側は特9までしか受け付けません。</p>

◆ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。